## ⑲ 日本国特許庁(JP)

## @ 公開実用新案公報(U) 平2-98245

@Int. Cl. 5 F 16 H 25/22

庁内整理番号 識別記号

@公開 平成2年(1990)8月6日

K D 8814-3 J 8814 - 3 J

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

緩衝材製スリープを具えたチューブ式ポールねじ '60考案の名称

②実 顧 平1-6537

題 平1(1989)1月25日 @出

@考案 著 盛 展 浦

奈良県大和郡山市額田部北町652-3 株式会社椿本精工

都山工場内:

株式会社椿本精工 人 頭 出所

大阪府大阪市北区小松原町2番4号

外2名 弁理士 木下 洋平 四代理人

## 愈実用新案登録請求の範囲

ねじ軸とボールナツトの間にボールが挿塡され ボールナツトに設けられた連通孔に挿入されたチ ユーブにより前記ボールを循環させるチユーブ式 ボールねじにおいて、

前記連通孔と前記チューブの間に緩衝材製スリ ーブを介在させたことを特徴とする、

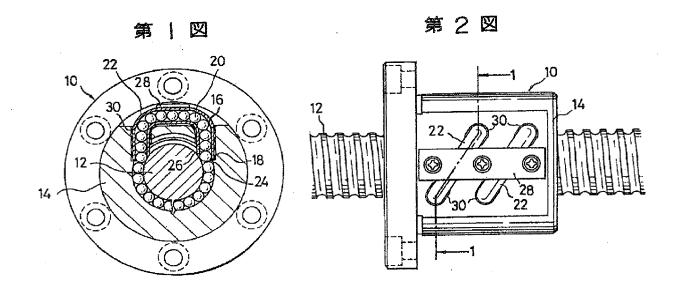
チュープ式ボールねじ。

## 図面の簡単な説明

図而は本考案の実施例を示し、第1図は第1実

施例のチューブ式ボールねじの断面図であり第2 図の1-1線断面図、第2図は第1図のチューブ 式ポールねじの上面図、第3図は緩衝材製スリー ブの斜視図、第4図は第3図の正面図、第5図は 第3図の底面図、第6図は第2実施例のチューブ 式ボールねじの断面図である。

10 .....チュープ式ボールねじ、12 .....ねじ 軸、14……ボールナツト、16……連通孔、2 2 .....循環用チューブ、30 .....緩衝材製スリー プ。

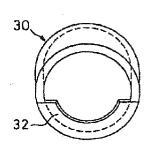




第4図

30

第 5 図



第6図

